

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
<p>2 実践1 【今日のキラリ、キラリ賞の実施】</p>	<p>「今日のキラリ」は、各学級で毎日帰りの会の中で、その日に頑張っていた友達や素晴らしい取り組みや様子について発表し合い、称賛する活動である。また、「キラリ賞」は生活の中で友達の良さを見付け、その良さについて、校長室で表彰を受ける取組である。表彰は毎月行われて、年間を通して全児童が表彰される。</p> <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・称賛を受けた児童は自己肯定感や自己有用感を高めることができ、より良い人間関係をつくる機会となった。</li> <li>・2つの活動を通して友達の良いところを互いに認め合おうとする意識の高まりを感じた。今後も継続して取り組んでいきたい。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「キラリ賞」は全員貰うことができるが、自分の番がくるまで「自分にはもらえないかも」と不安に思う児童もいた。教師が普段から児童の良いところを見つけ、本人に伝えていくことがさらに必要である。</li> <li>・「今日のキラリ」は紹介される人が限られてしまう傾向があり、週を通して全員が紹介されるように教師の呼びかけが必要である。</li> </ul>
<p>1 実践2 【学校子ども会・あおぞら班活動ともあそび】</p>	<p>よりよい人間関係づくりを構築する取組として、3種類の遊び活動を実施した。</p> <p>① 『ともあそび』 年数回、水曜日のロング昼休みの時間を活用し、学級全員で遊ぶ時間を設ける。遊ぶ内容はクラスで相談して決める。ドッジボールやけいドロが多い。</p> <p>② 『あおぞら班活動』 異年齢児童との交流ができる活動である。児童の住んでいる地域ごとに縦割り班を編制し、6年生が中心となって計画、準備、活動している。こちらもともあそび同様、ロングの昼休みを活用している。</p> <p>③ 『学校子ども会』 あおぞら班の縦割り班を利用し、そこに地域の方が加わって年に3回、土曜日に集団遊びを実施する。地域ボランティアや交流センターの方々に協力を仰ぎ、昔遊びなどを教えていただき共に楽しんでいる。</p> <p>成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これらの活動を通して学級の中だけではなく、地域の方々との交流や学年、異年齢間の交流をすることができた。また、思いやりの心や、相手のことを考えて行動することの大切さを身に付ける良い機会となった。</li> </ul> <p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水曜日は集会や、各種委員会の活動が入ることもあり、ともあそびの定期的な活動時間の確保が難しい。</li> <li>・あおぞら班では一年生から六年生が縦割りで活動するため、児童看護や安全確保が難しい。</li> </ul>